

第28号
2022年



杉二小同窓会報

東京都杉並区立
杉並第二小学校
同窓会事務局発行

二〇二〇年二月十五日理事会開催以降、新型コロナウイルス感染症要因にて諸活動は休止、役員改選期ながら総会承認が行えず、前期役員が職務を継続し、最低限の会務を実施致しました。改選役員候補案、活動経緯概要、会則抜粋、令和一〜三年各年度収支決算報告(監査済)をご紹介致します。時節柄十分な調整が行えず、継続可の同意を得た前期役員及び新規役員を候補としています。

総会承認役員候補者(敬称略、カッコ内数値は卒業生)案
会長 藤井真人(昭三〇)
副会長 川久保達也(昭三一) 後藤円(昭四九)
理事 牛田和宣(昭三四) 仲尾美知子(昭三五)
福澤純平(昭三六) 石原政義(昭三七)
村野明(昭三七) 渡辺愛子(昭三七) 堂嶋正樹(昭三八)
石原誠(昭三九) 大場肇(昭四七)
本橋功(昭五〇) 松岡洪東(昭五一)
篠原明(昭三六) 吉田純子(昭三七)

杉二小同窓会活動経緯概要

〔同窓会創立のいきさつ〕
杉並区立杉並第二小学校(以下杉二小)同窓会は杉二小創立百周年(一九八五年)を機に多数の同窓生及び先生方有志により発足が準備され、初代会長に金田一春彦氏(大十四卒)、初代理事長に生田正也氏(昭一〇卒)の体制で一九八六年発足、同年四月に設立総会開催。会長は大丸直氏(昭一一卒)、松田輝雄氏(昭二七卒)、岩田和保氏(昭二一卒)が、理事長は遠藤幸雄氏(昭一〇卒)、辻毅氏(昭三〇卒)、桐村則子氏(昭三四卒)、渡辺愛子氏(昭三七卒)が歴任。

〔同窓会活動〕

会員相互の親睦、母校発展への寄与を目的とし、親睦会・講演会等の開催及び、その他の目的達成に必要な事業を実施。具体的には①総会開催②同窓会文庫寄贈③同窓会報発行④会員拡充⑤その他。

〔運営〕

会員資格は、杉二小卒業生及びそれに準ずる者(在校経験者等)と杉二小現教職員及び旧職員。入会された双方の方々、前者を普通会員、後者を特別会員と称す。普通会員には、入会時のみ終身会費(千円)を納入頂き、寄付金と合わせ同窓会運営に当てている。

〔補足説明〕

- 一、二〇二〇、二一年は新型コロナウイルス感染症のため総会中止、同年度同窓会報第二七号休刊。同窓会文庫寄贈(累計約七三三万円 四八〇冊図書及び備品)、杉二小ウィンドバンド楽器維持費支援は同年共実施。
- 二、同窓会設立時より同窓生連絡先調査を継続(昭四二年三月卒業生迄実施)、現在は個人情報保護法に抵触しないよう同窓生(主に各年代)からの情報提供待ちの状態。上記以降昭和六〇年三月卒迄の同窓生には卒業時氏名住所宛に総会案内郵送。経費節減に五年以上総会案内に返信の無い終身会費未納者の郵送案内停止。今後はホームページ他電子媒体による情報授受へ移行検討中。
- 三、一九八六年同窓会設立時卒業(昭和六一年三月卒)以降、保護者の賛同を得られた卒業生から卒業時一括の終身会費納入(Ⅱ)入会。しかしながら、未成年世代であったことから総会郵送案内対象外とし現在に至る。
- 四、同窓会ホームページによる活動紹介(一瞥)等。
H.a:<http://sugi2sho-dosokaijimdo.com/>

令和1年度(2019年)収支決算報告

(自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

1. 総収支(単位:円) 2020年3月31日

区別	前期 繰越金	期中 収入	期中 支出	次期 繰越金
予算	796,509	600,001	600,001	796,509
決算	796,509	765,001	798,271	763,239

2. 期中収支(単位:円)

収入の部

科目	予算額	決算額	摘要
会費	100,000	137,000	新卒業生(80名)既卒業生(57名)
寄付金	500,000	628,000	振込・総会時など 156名
雑収入	1	1	
合計	600,001	765,001	

支出の部

科目	予算額	決算額	摘要
事業費	560,000	565,664	総会案内郵送料(210,021円)後納郵便代(31,156円)通信ハガキ印刷代(16,800円)封筒長3号(4,228円)会報印刷代(31,568円)ラベル用紙(2,244円)同窓会しおり代(24,088円)ラベルシート(2,460円)振替用紙印刷代(8,204)総現金不足分(4,756)同窓会図書寄贈(¥97,691)楽器維持費(¥50,000)ウィンドバンド菓子代(10,384円)花束代(7,560円)運動会祝金(10,000円)他
会議費	15,000	7,291	場所代 交通費 コピー代 切手代 理事会お茶菓子等
印刷費	3,000	1,830	杉二小以外でのコピー代
事務用品費	8,001	0	事業費支出
通信費	6,000	0	事業費支出
雑費	8,000	31,086	寄付・終身会員振込手数料(7,400円) はがき交換手数料(58円)
予備費		192,400	195周年記念品寄贈 Tent 2張
合計	600,001	798,271	

令和2年度(2020年)収支決算報告

(自令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

1. 総収支(単位:円) 2021年3月31日

区別	前期 繰越金	期中 収入	期中 支出	次期 繰越金
予算	763,239	600,001	600,001	763,239
決算	763,239	458,004	387,793	833,450

2. 期中収支(単位:円)

収入の部

科目	予算額	決算額	摘要
会費	100,000	122,000	新卒業生一括納入(98名)既卒業生(24名)
寄付金	500,000	336,000	103名(過去の寄付振込1名を含む)
雑収入	1	4	郵貯口座利息
合計	600,001	458,004	

支出の部

科目	予算額	決算額	摘要
事業費	560,000	382,888	図書寄贈55冊(¥30,269)児童活動支援(¥50,000)会報(¥30,156)総会中止連絡・会報郵送料(¥179,653)通信ハガキ関連・他(¥42,810)会計監査に係る費用
会議費	15,000	2,500	杉二小以外でのコピー費用、他
印刷費	3,000	250	のり・テープ・印刷用インク、他
事務用品費	8,001	-	
通信費	6,000	1,407	総会・会議以外の通信費用
雑費	8,000	748	各種手数料、他
予備費			
合計	600,001	387,793	

令和3年度(2021年)収支決算報告

(自令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

1. 総収支(単位:円) 2022/1/31中間値

区別	前期 繰越金	期中 収入	期中 支出	次期 繰越金
予算	833,450	200,004	307,000	726,454
決算	833,450	128,005	304,232	657,223

2. 期中収支(単位:円)

収入の部

科目	予算額	決算額	摘要
会費	100,000	99,000	新卒業生一括納入(96名)既卒業生(3名)
寄付金	100,000	29,000	7名
雑収入	4	5	銀行口座利息
合計	200,004	128,005	

支出の部

科目	予算額	決算額	摘要
事業費	300,000	298,862	図書寄贈(¥99,718)児童活動支援(¥50,000)総会中止連絡(¥149,144)
会議費	2,500	2,000	監査費用
印刷費	500	240	杉二小以外でのコピー費用、他
事務用品費	3,000	0	
通信費	1,000	2,868	理事宛通信費用
雑費	0	262	振込手数料
予備費	0		
合計	307,000	304,232	

杉並区立杉並第二小学校同窓会会則抜粋
(役員任期) 第九条 本会の役員任期は二年とし、再任を妨げない。
2 役員任期が修了しても後任者の就任までその職務を行う。
(監査報告) 第十四条 監事は、任期中の本会の収入及び支出の決算を監査し、定時総会で報告しなければならない。
(会議の招集) 第十五条 本会の総会は会長が、理事会は理事長がこれを招集する。
(総会) 第十六条 本会の総会は毎年度一回開くほか必要に応じ開き、次の事項を審議する。
一、会務報告
二、会長、副会長、理事及び監事の選任
三、事業計画及び予算の議決並びに決算の承認
四、その他重要な事項
(理事會) 第十七条 本会の理事會は必要に応じ開き、次の事項を議決し遂行する。
一、事業計画、予算等の執行に関する事項
二、総会の招集並びにこれに付議すべき事項
三、財産の管理又は処分に関する事項
四、その他理事會において必要と認められた事項
(会則の改正) 第十九条 本会則を改正するには総会において出席者の三分の二以上の同意がなければならない。

コロナ禍の杉二小の軌跡

誰もが経験したことのない新型コロナウイルス感染症状況に、杉二小の先生方と児童たちがこの二年間どのように過ごしてきたのか、佐野篤校長先生に伺いました。

「①全ての児童を全教職員で支援する」
 「②学校をオープンにし、多様な風を入れる」
 「③失敗を恐れずに試行錯誤し、皆で協働する」
 の基本方針、「皆で創り 皆が誇る 未来志向 杉並第二小学校」スローガンのもと、校長の限界を学校の限界にせず、杉二小に関わる全人の力を借りる「オール杉二」体制での学校経営を実践されているとの視点から詳細なご説明を頂きました。紙面制約より紹介内容の概要に留めて頂くこととご了承下さい。

【突然の臨時休校】

二月二十七日臨時休校決定に職員児童共に困惑、自分の荷物(学習用具)の持ち帰りを第一優先に下校。その後、コロナ情報を集め、諸行事を検討。在校生は修了式の日に一時間だけ登校、通知表受領。六年生は体育館で説明を受け、翌日卒業式挙行。四月六日始業式と入学式を体育館前桜満開晴天下の校庭で実施。翌七日から再度二カ月間の臨時休校に入る。その間は宿題による家庭学習で勉強を継続。五月から時間割通りの家庭学習を開始。教員は宿題作成、家庭への電話 手紙で児童との繋がりを維持。事情ある児童には休校中も学校にて指導。

【六月からの学校授業再開】

①思いやりの心で、一人一人が感染防止徹底。②多様なアイデアで、子供たちの学びを保障。の基本方針に学校生活様式見直しと教育課程リデザイン。
 六月の第一週は出席番号の奇数 偶数で分散登校を開始。翌週からの給食に黙食を徹底、給食後下校 登校後給食と二回に分けた登校に合わせた。
 六月第三週から通常授業再開。六年生は、臨時休校中にコロナ対応ポスターを作成 学校中に掲示して感染防止対策を徹底。密になる教育活動、水泳指導などは中止。

【新しい生活様式や教育課程のリデザイン】

①毎朝の検温②正しいマスク着用③丁寧な手洗い消毒④人との距離を開ける。
 (ソーシャルディスタンス)徹底。給食黙食、児童による掃除廃止など児童生活時程を見直し、三十分休み確保で体力と心の健康を維持。分散登校に備え職員勤務時間を八時から変更。夏休みは八月一日〜三日に短縮し授業時数を確保。土曜授業は月一回から二回程度に増加。通知表は、前期(十月) 後期(三月)の二回。移動教室は、宿泊のない校外学習に変更。六年生は、富士山の麓で飯盒炊爨とカレー作り。運動会や学芸会は学年や学級単位、全校朝会 始業式 終業式は各教室にてオンラインで実施。

【学校や児童の様子の変化】

文科省「GIGAスクール構想」が前倒され、令和三年四月全児童にタブレットPC配布。教員も研修体制を強化。児童は毎日タブレットPCを持参登校、ほとんどの授業で使用。土曜授業には、年間四回オンラインスクール実施。自宅と学校をオンラインでつなぎ自然災害、感染症拡大による学校や学級の閉鎖に備えた。タブレットPCにAIドリル、デジタル新聞などを入れタブレットPCがとも身近に。

【今後の杉二小】

「新しい教育」ジョン・O・ニニスタートに当たり、一人ひとりが自分らしく生き、人としての尊厳を尊重し多様性と社会的共生を基本に時代要請にこたえながら対応する等、社会の大きな変化を受け止める新しい教育の在り方を議論。「みんなのしあわせを創る杉並の教育」というキャッチフレーズ下、①子供自身が自分でよく考え、実行、実現する。②多様性を認めて、人を大切にすること。③自分の中にやさしさを育てる。「子供が学び育つ学校を皆で創る」を原点に「やさしくなる しあわせになる」を新教育目標に設定。

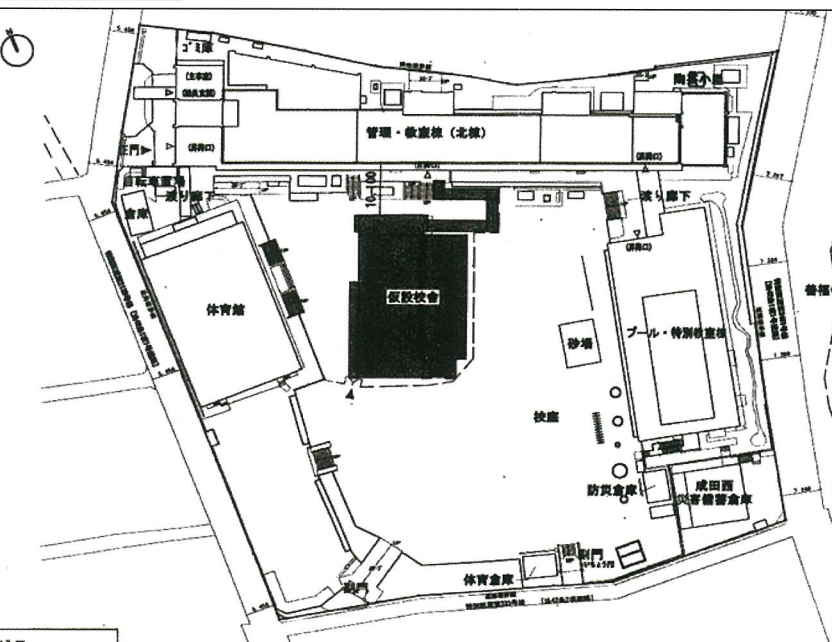
2022年3月初旬時点 左より 玄関/管理・教室棟(北棟)/仮設校舎/仮設校舎と体育館/プール・特別教室棟撤去整理地



新校舎建設スケジュール	2019(R1)												2020(R2)												2021(R3)												2022(R4)												2023(R5)												2024(R6)												2025(R7)											
	令和元年度												令和2年度												令和3年度												令和4年度												令和5年度												令和6年度												令和7年度											
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4												
基本設計	■																																																																																			
実施設計													■																																																																							
埋蔵文化財調査													■																																																																							
仮設校舎建設工事																									■																																																											
既存校舎等解体工事 (プール・特別教室棟)																									■																																																											
新校舎棟建設工事																																					■																																															
仮設校舎解体工事 既存校舎解体工事 (北棟・体育館)																																					■																																															
環境整備工事																																																													■																							

「杉並区まちづくり条例に基づく説明会資料」として杉並区HPに紹介されている内容です。実際の状況とは異なることもありえます。本情報掲載に佐野校長先生のご了解を頂きました。

既存・仮設校舎



完成新校舎

